

第 102 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日

令和 3 年 6 月 26 日（土）

2. 開催場所

スターピアくだまつ 2 階 会議室 4

3. 委員出席者（委員総数 8 名）

（出席 6 名） 小林 高志・松本 祥二・石田 俊介・矢原 慎也・竹田 裕・小松佐穂子・小林海翔
西條 晃司

（事務局） 藤田 徹・藤田 素子・西村 沙織

4. 議題

- (1) 番組・イベントについて
- (2) 地域力アッププロジェクト
- (3) 番組審議

5. 議事の概要

(1) 番組・イベントについて

- ・4 月より 「ティーンズスクエア」（毎週土曜日 12 時～）華陵高校と下松高校の交互出演
- ・5/5（水）15:00～17:00 特別番組「激熱トーク～まちの原石を磨け」（再放送）
- ・5/11（火）総合通信局へ「設備に関する報告書」提出
- ・5/11（火）小学校校長会出席（地域力アッププロジェクト報告書提出、お礼とお願い）
- ・5/13（木）総合通信局へ「週間放送番組の編集に関する事項」提出
- ・5/19（水）11:00 国民保護訓練放送
- ・5/21（木）中学校校長会出席（地域力アッププロジェクト報告書提出、お礼とお願い）

(2) 地域力アッププロジェクト

- ・ラジオくらぶ
6/5 より周南市内の小学生毎週出演
- ・こども新聞
57 号（3/10 発行）配布中
58 号（7/20 発行予定）編集中

(3) 番組審議

「ティーンズ・スクエア」 毎週土曜日 12 時～12 時 30 分

Pe：下松高校生・華陵高校生

開局 2 年目にスタートした番組。

高校生たちが学校生活や今 興味ある事を語ってくれています。

6. 審議内容

「ティーンズ・スクエア」

- ・どちらの高校生たちも楽しく会話していた。
- ・アイドル・アニメ・バンドの話しや女子高生らしい詞の解釈が聞けて興味深かった。
高校時代が懐かしく、戻りたく思った。
今どきの高校生の話題もちゃんと説明が入り、下準備をちゃんとしていることがうかがえた。

テストの話題などナチュラルな話の展開に、彼女たちのスペックが高い。

- 番組構成、3人のかけあいがうまい。自然な流れなのか、リハーサルをしてのことなのか。途中、方言で話していたのが気になった（ちょっと違和感あり）
- 小・中学生の時の「ラジオくらぶ」出演からのこの番組担当という自然な流れができるのか。「お父さん・お母さん」と呼んでいたが、そこは「父・母」の方が良いのではと思う。「コナン」の話題などは、いかにも女子高生らしい。テストの話は、高校生ならでは。自分も学生時代に戻ったようだった。フリートークの楽しさは感じるが、テーマがあっても良いのではと思った。
- 高校生同士の話しは、聞いていて楽しい。自分も参加してみたかった。アーティスト、今どきの曲のことも興味深い。
- 高校生らしい感覚が全面にでていた。今のブームを押さえていて、人に伝えたい想いがわかる。楽しそうな会話はラジオならでは。ラジオを聞かない世代だとは思いますが、この番組がラジオを聞くきっかけになればよいと思う。
- 女子高生は、いつの時代も流行に敏感な世代。今後の展開に期待。萌えサミのキャラクター「まわりみなみ（周南）」「くだりまつ（下松）」の名前が出たことは、イベントに関わるものとして嬉しいことだった。番組スポンサー名を高校生たちが読み上げることは、地元の企業を知る機会にもなってよいのではないか。
- 約25年前から続く「コナン」作品が彼女たちの共通の話題になっていることに寿命の長さを感じた。それに対し、彼女たちの聞く楽曲ではその歌詞や曲調に反映される時代の姿や価値観などの影響を強く受けるのだろうと感じた。海外でドラえもんをたぬきとたとえて通じるか、コーラは何味なのか・・・など、普段気にしていなかったことに気づかせてくれる発想の柔軟さが面白かった。日本独特の擬人化へのこだわりについての話しも楽しく、「周南（まわりみなみ）」「下松（くだりまつ）」を彼女たちが知っていたことが「萌えサミ」の委員会メンバーとしては嬉しかった。
- 土曜日の12時という放送時間は、高校生たちは聞ける時間帯なのか？

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

- 番組参加者に好評だったこと、気になる部分は聞き直しをされたことを伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法	事務所への備置、自社ホームページへの掲載
公表の内容	議事録
公表年月日	令和3年 7月 8日

9. その他参考事項

次回審議会 令和3年9月18日（土）10時30分～

第 102 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日

令和 3 年 6 月 26 日（土）

2. 開催場所

スターピアくだまつ 2 階 会議室 4

3. 委員出席者（委員総数 8 名）

出席 8 名、事務局 3 名

4. 議題

- (1) 番組・イベントについて
- (2) 地域力アッププロジェクト
- (3) 番組審議

5. 議事の概要

(1) 番組・イベントについて

- ・4 月より 「ティーンズスクエア」（毎週土曜日 12 時～）華陵高校と下松高校の交互出演
- ・5/5（水）15:00～17:00 特別番組「激熱トーク～まちの原石を磨け」（再放送）
- ・5/11（火）総合通信局へ「設備に関する報告書」提出
- ・5/11（火）小学校校長会出席（地域力アッププロジェクト報告書提出、お礼とお願い）
- ・5/13（木）総合通信局へ「週間放送番組の編集に関する事項」提出
- ・5/19（水）11:00 国民保護訓練放送
- ・5/21（木）中学校校長会出席（地域力アッププロジェクト報告書提出、お礼とお願い）

(2) 地域力アッププロジェクト

- ・ラジオくらぶ
6/5 より周南市内の小中学生毎週出演
- ・こども新聞
57 号（3/10 発行）配布中
58 号（7/20 発行予定）編集中

(3) 番組審議

「ティーンズ・スクエア」 毎週土曜日 12 時～12 時 30 分

Pe：下松高校生・華陵高校生

開局 2 年目にスタートした番組。

高校生たちが学校生活や今 興味ある事を語ってくれています。

6. 審議内容

「ティーンズ・スクエア」

- ・どちらの高校生たちも楽しく会話していた。
- ・アイドル・アニメ・バンドの話しや女子高生らしい詞の解釈が聞けて興味深かった。

高校時代が懐かしく、戻りたく思った。

今どきの高校生の話題もちゃんと説明が入り、下準備をちゃんとしていることがうかがえた。

テストの話題などナチュラルな話の展開に、彼女たちのスペックが高い。

- 番組構成、3人のかけあいがうまい。自然な流れなのか、リハーサルをしてのことなのか。
途中、方言で話していたのが気になった（ちょっと違和感あり）
- 小・中学生の時の「ラジオくらぶ」出演からのこの番組担当という自然な流れができるのか。
「お父さん・お母さん」と呼んでいたが、そこは「父・母」の方が良いのではと思う。
「コナン」の話題などは、いかにも女子高生らしい。
テストの話は、高校生ならでは。自分も学生時代に戻ったようだった。
フリートークの楽しさは感じるが、テーマがあっても良いのではと思った。
- 高校生同士の話しは、聞いていて楽しい。自分も参加してみたかった。
アーティスト、今どきの曲のことも興味深い。
- 高校生らしい感覚が全面にでていた。
今のブームを押さえていて、人に伝えたい想いがわかる。
楽しそうな会話はラジオならでは。ラジオを聞かない世代だとは思いますが、この番組がラジオを聞くきっかけになればよいと思う。
- 女子高生は、いつの時代も流行に敏感な世代。今後の展開に期待。
萌えサミのキャラクター「まわりみなみ（周南）」「くだりまつ（下松）」の名前が出たことは、イベントに関わるものとして嬉しいことだった。
番組スポンサー名を高校生たちが読み上げることは、地元の企業を知る機会にもなってよいのではないか。
- 約25年前から続く「コナン」作品が彼女たちの共通の話題になっていることに寿命の長さを感じた。
それに対し、彼女たちの聞く楽曲ではその歌詞や曲調に反映される時代の姿や価値観などの影響を強く受けるのだろうと感じた。
海外でドラえもんをたぬきとたとえて通じるか、コーラは何味なのか・・・など、普段気にしていなかったことに気づかせてくれる発想の柔軟さが面白かった。
日本独特の擬人化へのこだわりについての話しも楽しく、「周南（まわりみなみ）」「下松（くだりまつ）」を彼女たちが知っていたことが「萌えサミ」の委員会メンバーとしては嬉しかった。
- 土曜日の12時という放送時間は、高校生たちは聞ける時間帯なのか？

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

- 番組参加者に好評だったこと、気になる部分は聞き直しをされたことを伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法	事務所への備置、自社ホームページへの掲載
公表の内容	議事録
公表年月日	令和3年 7月 8日

9. その他参考事項

次回審議会 令和3年9月18日（土）10時30分～